

## 芸術的な高校入試第 52 回

美しさ：★★★★★★+

難易度：★★★★★★

出典：2021 年度 都立西高校 大問 3

右の図 1 で、四角形  $ABCD$  は平行四角形である。点  $E, F, G, H$  は、それぞれ辺  $AB$ 、辺  $BC$ 、辺  $CD$ 、辺  $DA$  上にある点である。点  $E$  と点  $G$ 、点  $F$  と点  $H$  をそれぞれ結び、線分  $EG$  と線分  $FH$  との交点を  $I$  とする。

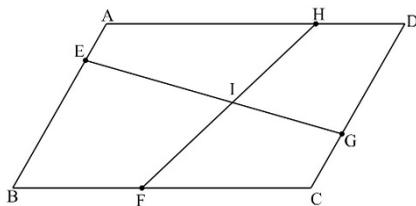


図 1

次の各問に答えよ。

問 1 右の図 2 は、図 1 において、点  $G$  が頂点  $C$  に一致し、 $\angle BEC = 90^\circ$ 、 $BE = BF$ 、 $EI = IC$  となる場合を表している。 $\angle ABC = 60^\circ$  のとき、 $\angle EIF$  の大きさは何度か。

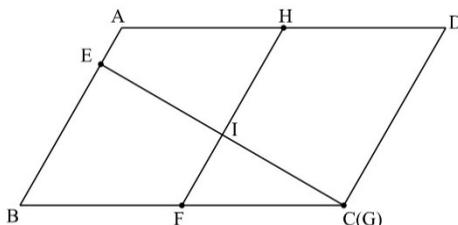


図 2

問 2 下の図 3 は、図 1 において、点  $I$  が四角形  $ABCD$  の対角線の交点に一致し、点  $E$  と点  $F$ 、点  $E$  と点  $H$ 、点  $F$  と点  $G$ 、点  $G$  と点  $H$  をそれぞれ結んだ場合を表している。四角形  $EFGH$  は平行四角形であることを証明せよ。

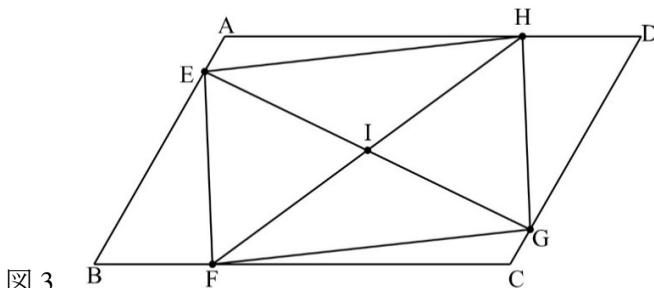


図 3

問 3 下の図4は、図1において、 $AE : EB = CG : GD = 1 : 2$ ，  
 $BF : FC = AH : HD = m : (2 - m)$  ( $0 < m < 2$ ) となる場合を表している。  
線分  $HI$  の長さ と 線分  $IF$  の長さ の比を  $m$  を用いて表せ。

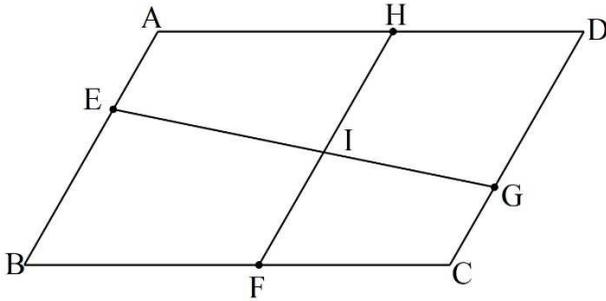
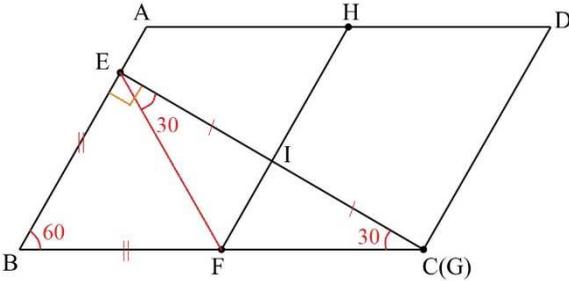


図 4

【解答例】 ※必ずしもここにある解法が最適とは限りません。

問 1 (7 点)



$\triangle FCE$  は二等辺三角形となり、 $EI=IC$  となっている。二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に二等分するから、

$\angle EIF=90^\circ$

問 2 (10 点) (例)

$\triangle AIH$  と  $\triangle CIF$  において、

平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わるから、 $AI=CI$ …①

$AD//BC$  より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle IAH = \angle ICF$ …②

対頂角は等しいから、 $\angle AIH = \angle CIF$ …③

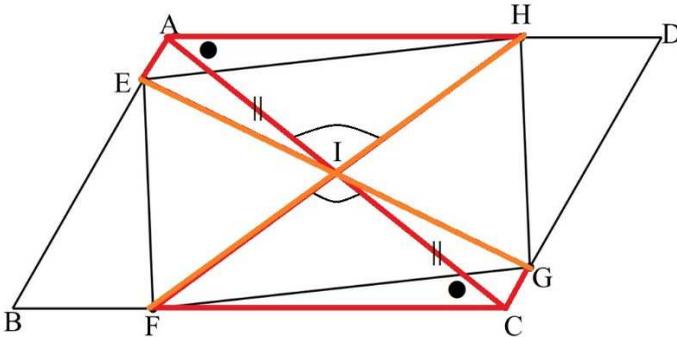
①, ②, ③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle AIH \equiv \triangle CIF$  したがって、 $IH=IF$ …④

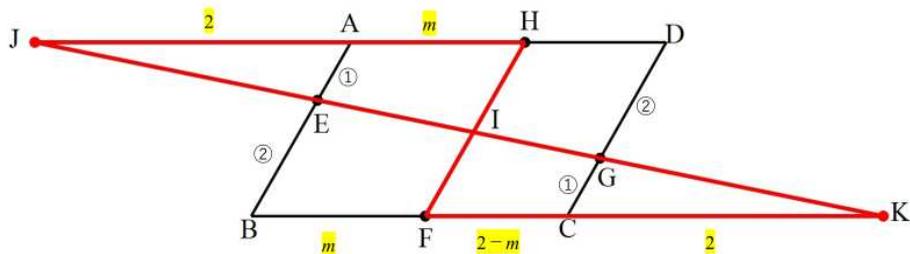
$\triangle AIE$  と  $\triangle CIG$  において、同様に  $\triangle AIE \equiv \triangle CIG$  であるから、

$IE=IG$ …⑤

④, ⑤より、四角形  $EFGH$  において、対角線がそれぞれの中点で交わるから、四角形  $EFGH$  は平行四辺形である。



### 問3 (8点)



直線 AD と直線 EG との交点を J, 直線 BC と直線 EG との交点を K とする。

$\triangle KCG \sim \triangle KBE$  より,  $KC : KB = CG : BE$

$$KC : (KC+2) = 1 : 2 \quad KC+2=2KC \quad KC=2$$

となるから,  $KC : CF : FB = 2 : (2-m) : m$  となる。

同様に,  $JA : AH : HD = 2 : (2-m) : m$

$\triangle JIH \sim \triangle KIF$  なので,  $IH : IF = JH : KF$

$$IH : IF = (2+m) : (4-m)$$

$$\mathbf{HI : IF = (2+m) : (4-m)}$$

#### 【コメント】

問1は簡単, 定期テストレベルです。

問2がかなりの難問で, 独自作成校や大阪府Cぐらいでしか出題されません。解答みれば簡単ですが, 中々本番書くのは難しいでしょう。平行四辺形を2等分する直線の式問題(関数)を演習した際に, なぜ2等分されるのか, 考えたことがある人は, 何とか証明できていそうです。

例: <https://hokkaimath.jp/blog-entry-65.html>

問3は, 文字  $m$  で味付けされていますが, 相似の基本問題です。

例の感染症の影響で, 確かに問題範囲は中2範囲をたくさん出していますが, 難易度は全く衰えていませんでした。

【作成】高校入試数学良問・難問 <https://hokkaimath.jp/>